

東北海区沿岸水温予報(2018年)

海域	経過 (4~6月)	現況(7月上旬~ 7月下旬)	見通し (8~9月)	見通しの背景	特異現象 (漁海況)
三陸北部 (青森県太平洋沿岸; 青森水総研発表)	<p>・定地水温:4~5月は平年並みだったが、6月中旬はやや低めとなった</p> <p>・6月の海洋観測の結果、津軽暖流域の各層最高水温は表面でかなり低め、50m層でやや低め、100m層で平年並みであった。また、水塊深度はかなり深め、東方への張り出しはやや強めであった</p>	<p>・定地水温:7月上旬及び中旬はやや低めと、7月に入っても水温は低め傾向が続いている</p>	<p>・津軽暖流の尻尾が東方への張り出しは強勢となる</p> <p>・津軽暖流域の水温は平年並みから高め</p>	<p>・FRA-ROMSによると、親潮第1分枝はやや勢力を強め、南方に分布を広げる</p> <p>・西方への親潮の張り出しは強くなり、津軽暖流の東方への張り出しは強勢となる傾向がみられる</p>	<p>・太平洋側のスルメイカの水揚げ数量は、6月末で、不漁だった前年の131%、7月中旬までで、前年の57%と過去5カ年平均の57%と極端な不漁となっている。</p>
三陸中部 (岩手県沿岸; 岩手水セ発表)	<p>4月(観測日:4月4日、5日、10日)</p> <p>《表面水温》</p> <p>10海里以内は5~10℃台。県南部でやや高めであった。</p> <p>10~50海里は、県北部では概ね平年並み、県中部ではやや高め~高め、県南部では高めであった。</p> <p>《100m深水温》</p> <p>10海里以内は、県北部では平年並み、県中部ではやや高め~高め、県南部では平年並みであった。10~50海里は、県北部では平年並み~やや高め、県中部及び県南部ではやや高め~高めであり、特に県南部沖30~40海里では極めて高い定点があった。</p> <p>5月(観測日:5月9日、10日、15日)</p> <p>《表面水温》</p> <p>10海里以内は8~12℃台。県北部では平年並み、県中部から県南部でやや高い~極めて高かった。10~50海里は、県北部では20~40海里でやや低い~低く、50海里は高かった。県中部では高い~極めて高く、県南部ではやや高め~極めて高かった。</p> <p>《100m深水温》</p> <p>10海里以内は、全域でやや高め~高めであった。</p> <p>10~50海里は、県北部沖20~40海里でやや低い~低く、50海里では高かった。県中部及び県南部沖ではやや高い~極めて高かった。</p> <p>6月(観測日:5月28日、29日)</p> <p>《表面水温》</p> <p>10海里以内は9~13℃台。全域で平年並みであった。</p> <p>10~50海里は、県北部から県中部で平年並み~やや低め、県南部でやや高め~高めであった。</p> <p>《100m深水温》</p> <p>10海里以内は県中部沖10海里で高め、それ以外は平年並みであった。10~50海里は県北部では平年並み、県中部ではやや高め、県南部ではやや高め~極めて高めであり、特に、県南部沖40~50海里では極めて高かった。</p>	<p>(観測日:7月9~12日)</p> <p>《表面水温》</p> <p>10海里以内は16~21℃台。県北部ではやや低め~やや高め、県中部では高め~極めて高め、県南部では極めて高かった。</p> <p>10~50海里は、県北部沖10~50海里では平年並み~やや低めであった。県中部沖~県南部沖ではやや高め~極めて高めであり、特に県南部沖10海里では極めて高かった。</p> <p>《100m深水温》</p> <p>10海里以内は県北部で平年並み~やや高め、県中部ではやや高め~極めて高め、県南部では平年並み~高めであり、特に県中部沖10海里では極めて高かった。</p> <p>10~50海里は、県北部でやや高め~高め、県中部で極めて高く、県南部では高め~極めて高かった。</p>	<p>予測される8月の水温は、10m深では全ての0海里定点でやや高め、100m深では県中部から県南部の沖合域で高めとなる。</p>	<p>農林水産省「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」において開発した水温経験的予測システムを用いて解析した。</p>	<p>7月2日から10日にかけて、大船渡地区の定置網を中心にクロマグロ小型魚の大量入網があった。</p>
三陸南部 (宮城県沿岸; 宮城水セ発表)	<p>【4月】表層は平年より3~9℃、100mは3~7℃高かった。</p> <p>【5月】表層は平年より1~5℃、100mは1~6℃高かった。</p> <p>【6月】表層は平年より2~5℃程度高く、特に142°~142°30'Eで高くなっていた。100m層は平年より1~6℃程度高く、特に142°30'以東、38°30'N以北で高くなっていた。</p>	<p>【表面】平年より1~5℃高く、142°E付近で顕著。</p> <p>【100m】平年より1~6℃高く、142°E付近で顕著。</p>	<p>(100m水温)</p> <p>【8月】142°30'E以東の海域で高く、以西の海域ではやや高くなる。</p> <p>【9月】38°N,142°E~142°30'Eの海域では高く、それ以外の142°30'E以西の海域では平年並み、142°30'Eではやや高くなる</p>	<p>水温経験的予測システムの主成分スコア自己回帰モデルによる予測。</p>	<p>高温傾向が続いている。</p>

<p>常磐北部 (福島県沿岸: 福島水試 発表)</p>	<p>100m深水温 【4月】 県北:沿岸は「高め」、沖合は「極めて高め」 県中:沿岸、沖合ともに「極めて高め」 県南:沿岸、沖合ともに「極めて高め」 【5月】 県北:沿岸は「やや高め」、沖合は「平年並み」 県中:沿岸は「高め」、沖合は「やや高め」 県南:沿岸は「極めて高め」、沖合は「やや高め」 【6月】 県北:沿岸は「やや高め」、沖合は「高め」 県中:沿岸は「やや高め」、沖合は「欠測」 県南:沿岸、沖合ともに「やや高め」 ※県北:37-50N、県中:37-25N、県南:37-00N、 沿岸:142-00E以西、沖合:142-15E以東</p>	<p>100m深水温 【7月】 県北:沿岸、沖合ともに「やや高め」 県中:沿岸、沖合ともに「やや高め」 県南:沿岸、沖合ともに「やや高め」</p>	<p>【8月】 「平年並み」、もしくは「高め」基調で推移する。 【9月】 「平年並み」、もしくは「高め」基調で推移する。</p>	<p>水温経験的予測システムの自己回帰モデルによる水温予測によると、8月および9月の沿岸域の100m深予測水温は「平年並み」もしくは、「高め」基調で推移すると予想されている。 気象庁の海面水温・海流1か月予報(平成30年7月20日発表)によると、8月20日までの海面水温と海流の見直しは、「本州東方の海面水温は、平年より高いか、かなり高い」見込みとなり、「親潮南限位置は41°N、148°E付近」、「面積は、平年よりかなり小さい」と予想されている。 FRA-ROMSの100m深予測水温偏差によると、8月の沿岸域100m深水温は平年並みか平年より1~2°C高めで推移すると予測されている。また、9月は8月と比較して沿岸域への親潮系冷水の波及が弱まると予測されている。以上のことから、8月、9月ともに平年並みもしくは高め基調で推移すると予測した。</p>	
--	--	---	---	--	--

<p>常磐南部～鹿島灘(茨城県沿岸; 茨城水試発表)</p>	<p>4月は、前月に発生した暖水波及の影響が残り、概ね全層全域で「平年並み～やや高め」となった。 5月は、沖合から暖水が波及し、会瀬～大洗定線では「平年並み～高め」、鹿島～犬吠埼定線では「平年並み～やや高め」となった。 6月も、沖合からの暖水波及が発生し、全層全域で概ね「やや高め～高め」となった。</p>	<p>7月は、沿岸で湧昇が発生したこと、沖合の暖水波及が無くなったことで、前月に比べてほぼ全層で降温した。平年と比べると、全層で概ね「やや低め～平年並み」であった。</p>	<p>【8月】 表層で「平年並み～やや高め」、100m深で「平年並み」で推移する見通し。 【9月】 「平年並み」で推移する見通し。</p>	<p>① FRA-ROMSによると、8月上旬の水温は表層で「平年並み～やや高め」、100m深で「平年並み」。9月上旬の水温は表層・100m深ともに「平年並み」と予想されている。 ②7月上旬に海洋観測で取得した水温を用いて自己帰帰分析を実施した結果、本県沿岸域の100m深水温は、8、9月ともに「平年並み」で推移するとの予測結果となった。 ③気象庁の海面水温・海流1か月予報(7/10発表)によると、「本州東方の水温は平年より高いかなり高い」、「親潮の面積は平年よりかなり小さい」と予想されている。 気象庁の関東甲信地方3か月予報(6/25発表)によると、7月～9月の茨城県の平均気温は「高め」50%と予測されている(「低め」:20%、「平年並」:30%)。</p>	<p>6月18日、底曳き網で混獲されたネズミギスが那珂湊に平て水揚げされた。 6月中旬～下旬にかけて、本県沿岸で漁獲されるシラスに、ツノナシオキアミに近縁な暖水性種 <i>Euphausia na</i> が大量に混じった。 6月のシラスの漁獲量が過去20年で2番目の多さとなった。 7月上旬、那珂湊・大洗で平年(9～10月)より早くメジマクロ(4kg前後)が水揚げされた。</p>
--------------------------------	---	--	---	--	---

各階級の水温平年偏差の範囲

階級区分(出現率)	三陸北部	三陸中部		三陸南部	常磐北部	常磐南部～鹿島灘
		距岸10海里内	距岸10～70海里			
極めて高い(2.5%)	+3.1℃～	+3.7℃～	+5.8℃～	+5.7℃～	+4.8℃～	+6.1℃～
高い (7.5%)	+2.0～+3.0℃	+2.4～+3.6℃	+3.8～+5.7℃	+3.7～+5.6℃	+3.1～+4.7℃	+4.0～+6.0℃
やや高い (20%)	+0.8～+1.9℃	+1.0～+2.3℃	+1.5～+3.7℃	+1.5～+3.6℃	+1.2～+3.0℃	+1.6～+3.9℃
平年並み (40%)	+0.7～-0.7℃	+0.9～-0.9℃	+1.4～-1.4℃	+1.4～-1.4℃	+1.1～-1.1℃	+1.5～-1.5℃
やや低い (20%)	-0.8～-1.9℃	-1.0～-2.3℃	-1.5～-3.7℃	-1.5～-3.6℃	-1.2～-3.0℃	-1.6～-3.9℃
低い (7.5%)	-2.0～-3.0℃	-2.4～-3.6℃	-3.8～-5.7℃	-3.7～-5.6℃	-3.1～-4.7℃	-4.0～-6.0℃
極めて低い(2.5%)	-3.1℃～	-3.7℃～	-5.8℃～	-5.7℃～	-4.8℃～	-6.1℃～